

今後のまちづくりプランについて。市長！

答弁＞

- ・市民のワークショップを通じて市民の声を基に作成した持続可能な地域づくりプランを最大限反映していく。
- ・子育て支援の充実に注力し、学校給食無償化、児童クラブの預かり時間の拡大延長、航空業界学習会を開始する。
- ・移住定住の受け皿となる子育て支援住宅の事業化計画づくりを行う。
- ・観光・交流拠点である和田公園の魅力アップとして、サイクリストや来訪者の休憩所等を兼ねた管理事務所の建設をする。

東地区は、「桜づつみ」やおいしいミルククイーン、桜川地区は「和田公園のチューリップ祭り」や「公民館祭り」が盛り上がりました。江戸崎地区は「花火大会」や「祇園際」には県外からも多くの方が集まり稲敷市最大のイベントでした。大杉神社も江戸崎地区。新利根地区は、教育・文化、子育てにおいて何か特色あるイベントで、子どもから大人まで一緒に触れ合える機会があるといいですね！旧4地区の特色をそれぞれに生かしたかたちで、流動人口を増やすことも今年目標の一つであります。そして、稲敷市として一丸となれるといいですね！

第1回の議会から1年が経ちます。大事なことが流れてしまわないよう進捗を確認してまいります。



【第2回定例会 2023年6月】

交通インフラの整備と高校生以上の継続的な支援策については？

答弁＞

- ・市内を運行している路線については、運行会社や地元からの意見、またはアンケート調査を基に、より多くの方に利用していただけるよう、路線の変更や再編を行っている。
- ・自力で通学する手段の選択肢を増やせるよう勧める。
- ・稲敷市地域公共交通活性化会議の中で議題として取り扱っていただき、協議・検討したい。

カスミ移動スーパーを今後どう定着させていくのか

答弁＞

各種団体でのチラシ配布やPRをこれまで以上行っていく。

介護タクシーへの助成状況について

答弁＞

現在、稲敷市では介護タクシー利用者及び事業者へのタクシー利用券のような補助は行っていない。利用者の負担軽減が図れるよう、関係機関や事業者、庁内の各課などと協議していきたい。

タクシー券補助金額の見直しなど、タクシー運賃値上げに伴った対策があるとありがたいですね！

移動手段のない方々への取組みについて

答弁＞

- ・タクシー助成券を利用いただきながら、市では公共交通体系を構築していきたい。
- ・カスミ移動スーパーの増便を検討。

令和6年1月より移動販売車が2台になりました。皆さんでご利用ください(^^)

路線バスの利用により、定期券補助を受けている学生とスクールバス等を利用して通学の際の経済的支援が受けられない学生の格差をどう埋めていくのか

答弁＞

「路線バス通学定期券購入補助」は「路線バスの利用を促進し、公共交通の維持活性化を図ること」が目的。しかしながら議員ご指摘のように、スクールバスやオートバイ等で通学している生徒や学生に補助制度が無いのが現状。高校生等の通学には、スクールバスやオートバイのほか、親の送り迎えや徒歩、自転車など様々な手段があり、市としても市内横断的に議論を進めていきたい。

本件は、自民党女性部勉強会から県にも問題提起させていただきましたが、子どもたちへの学習支援ではなく、運輸事業の継続に論点が行ってしまいました。引き続きブレないように言及していきたいと思っております。教育の格差をなくしたいのです。

